

申込送信FAX 03-3208-6255

お申込は、本書・受講申込書に必要事項をご記入の上、FAX又は送付して下さい。

相続知識検定 上級マスター取得講座 受講申込書		平成	年	月	日
ふりがな		ふりがな			
参加者名		事務所名 または 会社名			
E-mail		業種			
事業所または 会社所在地	〒	TEL		FAX	
		ご連絡先 必ず連絡がつく先をご記入下さい(携帯電話など)			

※この申込書1枚につき1人の申込みとしますので、複数申し込みの際は、コピーして使用して下さい。
 ※「受講申込書」が届き次第、事務局より折り返し「受付確認書」をFAX致します。
 ※受講料は「受付確認書」に指定振込口座が記載されておりますので、事前のお振込みをお願いします。

<日程> 2016年 7月6日(水)・13日(水)・20日(水)・27日(水)

<受講料> 7講座+検定試験 **120,000円** (税別) 受講料・テキスト・検定料・資格認定料 含む

<資格有効期間> 3年 (3年毎に更新手続きが必要です)

<更新について> 当協会が定める更新試験の合格と更新料3万円(税別)のお支払い手続きが必要です。
 ※初回資格認定料は受講料に含まれております。

東京アプレイザルが発行する【TAP実務セミナー利用券】をご利用できます。

- 1講座につき1枚必要となります。
- 検定試験を受けることも可能ですが、その場合検定試験にも【TAP実務セミナー利用券】が1枚必要です。
- なお、検定試験は【全7講座】を受講された方のみ受験可能です。
- したがって、【TAP実務セミナー利用券】で検定試験を受ける場合には、合計で8枚必要となります。
- 3年毎の更新につきましては【TAP実務セミナー利用券】は使用できません。

<会場> TAP高田馬場 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-31-18 高田馬場センタービル3階



<道順のご案内>

- JR山手線「高田馬場駅」
戸山口(駅ホーム新宿寄り端出口)より徒歩約3分
※戸山口を出ましたら、ガード下を通り線路沿い新宿方面へ進んで下さい。
- 西武新宿線「高田馬場駅」
戸山口(駅ホーム新宿寄り端出口)より徒歩約3分
- 東京メトロ東西線「高田馬場駅」
②番出口よりBIG BOX横を通り 徒歩約5分
③番出口よりBIG BOX横を通り 徒歩約5分
⑤番出口よりBIG BOX横を通り 徒歩約5分
- 東京メトロ副都心線「西早稲田駅」
②番出口より消防署の通りを500m 徒歩約6分

High Class

よりハイレベルな相続知識取得
**相続知識検定 上級マスター
 取得講座**
 7講座+検定試験



7月
 <東京本校>
**第1期生
 募集**

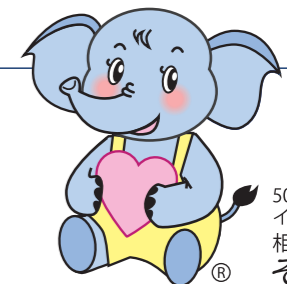
日程
 2016年 7月
 6日(水) 13日(水)
 20日(水) 27日(水)

受講料 7講座+検定試験
120,000円 <税別>
 受講料・テキスト・検定料・資格認定料 含む

主催 一般社団法人 相続知識検定協会 認定教育機関
50歳になったら相続学校®東京本校

◎講座公式サイトもご覧ください

<https://50souzoku-school.org>



50歳になったら相続学校
 イメージキャラクター
 相続円満大使
 そうぞう君

主催 一般社団法人 相続知識検定協会 認定教育機関
50歳になったら相続学校 東京本校

運営 **東京本校/株式会社 東京アプレイザル**
 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1丁目31番18号 高田馬場センタービル3階
 TEL. 03-3208-6271 FAX. 03-3208-6255



7/6 (水)	第1講座	10:00~13:00	民法	<ul style="list-style-type: none"> ● 民法の正しい理解で相続トラブルを防ぐ ● 相続放棄・限定承認の実務から見た注意点 ● 遺産分割のルール（協議・調停・審判） ● 特別受益と寄与分のケース事例 ● 遺留分減殺請求の手続
	第2講座	14:00~17:00	税務	<ul style="list-style-type: none"> ● 相続税の課税体系と相続財産の範囲 ● 小規模宅地等の特例の概要と適用要件 ● 代償分割及び遺留分の減殺請求時の申告と納税 ● 贈与税の基本と特例 ● 相続前後の不動産譲渡の具体例 ● 税務調査 ● 不動産所有型法人のメリットとデメリット



7/13 (水)	第3講座	10:00~13:00	遺言	<ul style="list-style-type: none"> ● 遺言をめぐるトラブルとは ● 遺言はなぜ必要か ● 遺言がある場合の相続手続 ● 遺言作成にあたり注意すべきこと ● 相続発生後の諸問題 ● 遺言執行者の職務 ● 遺言作成時のアドバイスとは ● 公証人に聞いた 遺言にまつわる諸問題
	第4講座	14:00~17:00	登記	<ul style="list-style-type: none"> ● 相続手続きの実務 ● 相続登記の実務 ● 遺産分割・遺言・相続分譲渡と相続登記 ● 相続登記のリスク



7/20 (水)	第5講座	10:00~13:00	財産評価	<ul style="list-style-type: none"> ● 不動産の評価で税負担が変わる ● 倍率表、路線価図の正しい見方 ● 評価地目の判定基準 ● 評価単位とは ● 形状等による画地の補正 ● 利用状況による価額の調整 ● 評価演習
	第6講座	14:00~16:30	信託	<ul style="list-style-type: none"> ● 信託とは ● 民事信託と商事信託 ● 認知症に備えた活用法 ● 遺言書としての活用法 ● 高齢者の土地活用としての活用法 ● 共同相続によるトラブルを防止するための活用法 ● 不動産流通税対策としての活用法


7/27 (水)	第7講座	10:00~13:00	財産評価	<ul style="list-style-type: none"> ● 路線価評価の限界を見極める ● 不動産の適正な時価評価とは ● 鑑定評価の活用方法 ● 広大地とは ● 広大地判定の留意点 ● 広大地は時価ではない
	検定	14:00~16:00	相続知識検定 上級マスター試験	

●検定試験 問題80問

第1講座		■ 弁護士法人よつば総合法律事務所 弁護士 松村 茉里氏 大阪府出身。京都大学法学部卒業。遺産分割調停や遺留分減殺請求事件、その他相続や不動産に関する交渉・裁判事件を多く取り扱っており、相続争いのナマの現場から円満な相続に必要な知識を伝える。セミナー実績多数、著書に「家族で話すHAPPY相続」等。
第2講座		■ 税理士法人とおやま 税理士・米国公認会計士 遠山 順子氏 都立三田高校、青山学院大学卒業。外国政府機関の秘書、外資系コンピューター会社の秘書を経て、資産税を専門とした税理士として実務に携わり、地方公共団体、各金融機関等で講演を行う。青山学院大学特別講師。

第3講座		■ 阿部恵子行政書士事務所 行政書士 阿部 恵子氏 20年の専業主婦を経て、相続専門の行政書士として独立開業。相続は有形無形の財産の承継と考え、相続後の家族の在り方を配慮し、遺言書作成から相続手続終了まで、他士業との協業により相続に取り組んでいる。行政書士、宅地建物取引士、ファイナンシャルプランナー資格取得。
第4講座		■ 司法書士中島誠事務所 司法書士 中島 誠氏 昭和26年東京生まれ/同志社大学工学部卒。昭和62年司法書士・土地家屋調査士登録、開業。相続アドバイザー養成講座17・23期生。不動産に関する登記・測量、相続業務、成年後見等全般に係わる。相続・成年後見業務に関しては、他の専門家が引き受けられないような業務依頼も受ける。

第5講座		■ APコンサルティング株式会社 代表取締役 原 卓司氏 昭和41年北海道札幌市生まれ。拓殖大学商学部卒。平成3年4月都内会計事務所入社、個人業務部長。平成23年4月より現職。平成9年より「土地評価実務学校」専任講師（路線価評価の実務、土地評価入門担当）。CADによる土地評価を平成6年から推奨している。その他外部研修等で、講師の実績も多数。
第6講座		■ 税理士法人タクトコンサルティング 税理士 宮田 房枝氏 平成13年 税理士試験合格。平成14年 上智大学経済学部卒。大原簿記学校税理士講座講師、新日本アーンスト アンド ヤング税理士法人（現 EY税理士法人）他 会計事務所勤務を経て、平成23年から税理士法人タクトコンサルティング。著書多数。

第7講座		■ 株式会社東京アプレイザル 代表取締役 不動産鑑定士 芳賀 則人氏 全国の会計事務所1,000事務所と業務提携契約を結び、年間約200件の不動産鑑定評価、約320件の広大地判定評価を中心に業務を展開している。その一方、税理士、公認会計士、不動産業者など相続問題に直面する実務家を対象としたTAP実務セミナーを年間200講座以上開催している。
------	---	--

▶▶▶▶▶ **合格・不合格の判定** 後日郵送にてお送りします。

<対象者> ●相続を扱う士業の方 ●建築・不動産業の方 ●生保・損保の方 ●金融機関の方
●より高度な相続知識の必要性を感じている方

※午前・午後の講座の間に60分間の休憩を含みます。また各講座の中でも2回の休憩を含みます。
※講師及び講座の内容は、予告無く変更する場合がございますので、予めご了承下さい。